

# あすなろだより6、7月号

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会 担当 2-1、2-6、1-5



## 「子ども食堂」に参加しました！

美鈴が丘団地では、子ども食堂が毎月第2土曜日の17時から美鈴が丘公民館で行われています。

美鈴が丘高校では、5月に3年生の家庭科選択者、7月はあすなろ会を中心に訪問しました。

全国的にこども食堂は、生活に困っている家庭の支援のために始まったのですが、美鈴が丘団地では子ども食堂を通し、地域の連携を深める意図で企画されています。

コロナで親の仕事が不安定になり、ご飯が遅くなったりしている子どもや忙しいお母さんのために少しでも安く、栄養のある美味しい料理を提供されていました。

7月は、初めて13時から料理を手伝い、地域の方と一緒に大量の野菜切りや、薄焼き卵作り、盛り付けを行いました。地域の方から、破れにくい薄焼き卵を作る方法等、料理のコツを教してもらいました。また、炊飯器で作る簡単小豆ケーキを休憩中にいただき、地域の方と交流もできました。

配膳係は1階から2階への料理運び、お汁を注ぐ、片付けなど、多くの住民の方が来られ、想像以上に忙しかったです。

今回は、コロナ感染予防のためできなかったのですが、今後は地域の方が食事を準備している間に参加している子ども達とふれあい遊びをするボランティアもできたらよいと考えています。

## ＜調理の様子＞



## ＜配膳の様子＞



### 【参加者の感想】

- 子ども食堂に来ている人は家族や友達と来ている人が多かったです。
- 地域の方々がとても優しくしてくださり、このイベントが楽しくできる理由がわかりました。
- 子ども食堂は地域の人との交流の場でもあることがわかりました。
- コロナ禍でなかなか地域の人との関わりが少ない中で”子ども食堂を通して、地域の方とのコミュニケーションを取れることが出来るのでとてもいい取り組みだと思いました。

## ○文化祭で展示をしました

あすなる会は、6月10日の文化祭では、ユニセフの支援物資やあすなる会での活動の紹介、あすなるすぐろくとボウリングを行いました。

あすなるすぐろくでは、現在の世界の状況やボランティアに関して学ぶことができるクイズを制作しました。多くの人から「平和について考えさせられる」などの声を頂き、あすなる会の目的をわかってもらえ、感激しました。教室の都合上、ボウリングはあまり距離を離せませんでした。しかし、見た目よりもピンを倒すことが難しく、何度も再挑戦する方も出るほど白熱していました。

来年度の文化祭も、あすなる会のブースに足を運んでいただけるように、様々なボランティアに挑戦し、多方面の紹介ができるよう取り組んでいきたいと思います。



## Friendly bridge isp の会に靴を寄付しました！

5月11日に Friendly bridge isp の会の佐藤さんへ、体育館シューズを寄贈しました。

この体育館シューズは、卒業生があすなる会に寄付してくれたものです。コロナウイルスにより長い間、倉庫に保管されていたものを集めて、1つ1つ洗い丁寧に箱詰めしました。ウクライナ戦争を発端に、エネルギーや食糧の高騰問題により、生活が苦しい家庭も増えてきています。その中、日本に来ている海外の方が再利用してくださるそうです。こんな時だからこそ、お互い無理のない形で助け合っていけるように今後も続けて取り組んでいきたいと思います。



予告：9月10日（土）にそごう前などで行われるあしなが学生募金のボランティアを8月に募集します。ボランティアに興味のある方は、あすなる会へ見学に来てください。